

四日市大学 2024 年度「海外環境研修」 オーストラリア環境研修 概要

2024 年度「海外環境研修」は、四日市大学正規カリキュラム科目です。全学部全学年で 2 単位を認定します。

異文化に身を置き、希少な野生生物や豊かな自然を実際に見て、触れて学ぶ、貴重な機会です。

1. 日程 国内語学(英語)講義 2025 年 1 月または 2 月(2 日間) <日時は後日連絡します>
海外環境研修 2025 年 2 月 11 日(火)~16 日(日) <4 泊 6 日>
2. 研修先 オーストラリア、ブリスベン (クイーンズランド州)
3. 引率者 本学教員 1 名
4. 定員 13 名 (最少催行人数 10 名) ※希望者が多い場合は先着順
5. お申込期間 第一次募集 7 月 17 日(水)~31 日(水)、第二次募集 9 月 17 日(火)~20 日(金)
<定員に達した時点で締め切ります。第一次募集で定員に達した場合は、第二次募集は行いません>
6. お申込方法 所定の申込用紙を四日市大学教学課に提出してください。
後日、会計課にて振込用紙をお渡します。期日までに申込金を振り込んでください(1 週間程度)。
7. お支払時期 (1) 申込金 5 万円 (お申込時)
(2) 研修費 残額 (2024 年 10 月頃:研修費確定時)
8. 行程

月日	内容		備考
出発前	国内語学(英語)講義(四日市大学にて)		講義日時は「1. 日程」を参照
2 月 11 日(火)	午後	集合:関西国際空港(KIX) 関西国際空港(KIX) (21 時発予定) ⇒ブリスベン国際空港(BNE) (12 日 AM 7 時着予定)	
12 日(水)	午前	ブリスベン着⇒フェリー乗り場(ホルト・ストリート・ワーフ)	
モートン島	午後	フェリーにて⇒モートン島⇒島内にてフィールド・ワーク <モートン島・タンガルーマ・リゾート・アイランド泊>	本学教員による野生生物観察
13 日(木)	終日	① 海洋生物&自然環境保護プレゼンテーション ② ブッシュ・タッカー・ウォーク ③ SDGs プレゼンテーション & ウォーク ④ 地学プレゼンテーション ⑤ デザート・サファリ・ツアー ⑥ イルカの餌付け(日没後) [アクティビティの順序は変わることがあります] <モートン島・タンガルーマ・リゾート・アイランド泊>	各アクティビティの説明は p.3
14 日(金)	午前	⑦ マリンディスカバリー・クルーズ	
モートン島	午後	島内自由散策 (夕方) フェリー乗船⇒ブリスベン市内 <ブリスベン市内泊>	
15 日(土)	終日	ブリスベン郊外にてフィールド・ワーク <ブリスベン市内泊>	本学教員による自然環境研修
ブリスベン郊外			
16 日(日)	午前	ホテル⇒ブリスベン国際空港(BNE)	
帰国	午後	関西国際空港(KIX)着 (19 時予定) 解散	

9. 研修費内訳

研修費に含まれるもの	研修費に含まれないもの
- 往復航空券 - ホテル宿泊費（モートン島 2 泊、ブリスベン市内 2 泊） - アクティビティ参加費（モートン島、ブリスベン郊外） - 食事（モートン島にて朝 2 昼 2 夜 2） - 現地での交通費（空港→フェリー乗り場、フェリー往復） - 学研災付帯海外留学保険（歯科治療費用担保特約あり拡充プラン）	- 日本国内交通費（自宅⇄関西国際空港） - 日本国内宿泊費 - 食事代（左欄記載の 6 食を除く・機内食なし） - 現地での交通費（ブリスベン市内など） - パスポート取得費用 - ETA(オーストラリア査証)取得手数料 - お小遣い など

10. 四日市大学貸付制度

研修費参加費用の一部を、無利子で貸し付けする制度を設けております。

希望する方は、所定の申込書を四日市大学教学課に提出してください。

（貸付の詳細については、後日、会計課から改めてご連絡します）

11. お申し込み後のスケジュール

- (1) 研修実施が決定した段階で、お申込者に通知します。
- (2) 参加学生を対象とした説明会を数回実施します。詳細は、別途、お知らせします。
- (3) 参加者数が最小催行人数に達しない場合、オーストラリア研修を取りやめ、お申込金を全額返金します。なお、代替企画として国内における環境研修を実施予定ですが、オーストラリア研修申込者に参加の義務はありません。代替企画の参加者は改めて募集します。

12. 注意事項

- (1) 上記内容は、予告なく変更することがあります。
- (2) いったん納入された申込金及び研修費は、一切返金できません(研修が実施されなかった場合を除く)。
- (3) 国籍が日本以外の方は、オーストラリアの査証取得など入国に関する必要事項を各自で確認してください。
- (4) パスポートをお持ちでない方は、お申し込み後、すみやかにパスポートを取得してください。
- (5) 持病などがある方は、事前にかかりつけの医師に相談してご参加ください。緊急事態の場合、できる限りの措置を講じますが、引率教員が医療行為などを行うことはできません。

● 本件に関するお申込み・お問合せ先

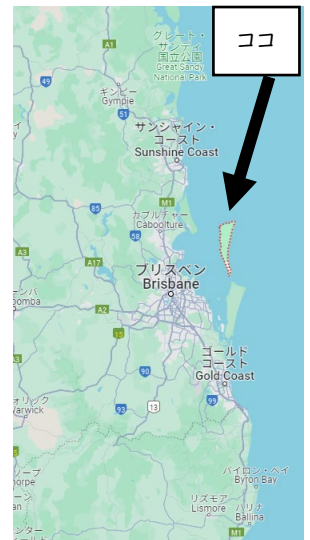
四日市大学教学課（窓口：平日 9 時～17 時・夏季冬季事務休業期間を除く、電話：059-365-6599）

（科目担当教員 四日市大学環境情報学部 特任准教授 青木陽子 Email: aoki@yokkaichi-u.ac.jp）

●モートン島でのアクティビティ(予定)

★モートン島 (モートンアイランド国立公園)

ブリスベン北東 40km に位置する、世界で3番目に大きい砂から形成された島で、面積の約 98%がモートン島国立公園に指定されている。クイーンズランド州の海岸沿いで最も汚染が少ない沿岸環境の 1 つで、豊富な自然環境が残されている。



① 海洋生物&自然環境保護プレゼンテーション

モートン湾に生息する様々な海洋生物が、どのようにこの自然環境に対応しているか、絶滅危惧される生物がどのような環境下で生息しているか、モートンベイの自然環境破壊保護なども交えて説明する。

② ブッシュ・タッカー・ウォーク

島内に自生する 64 種類以上の植物を、先住民アボリジナルの人達が実際にどのように食料・薬品・生活用品として使用していたかをガイドが歩きながら説明する。実際に歩いて、見て、触って、時には味見もして、先住民の生活スタイルや、自然でのサバイバル方法についても学習する。

③ SDGs プレゼンテーション & ウォーク

国立公園内でタンガルーマ・アイランドリゾートがビジネスと環境保護活動を持続的に行うための取り組みを SDGs に当てはめて紹介するプログラム。取り組みを紹介するプレゼンテーションの後、実際に取り組みを行っている現場をウォーキングで見学する。

④ 地学プレゼンテーション

世界で3番目に大きい砂から形成されたモートン島について地学的観点から学習する。オーストラリア東海岸からクイーンズランド州南東周辺の地形、歴史、過去の火山活動、砂島特有の地形変化など、モートン島が砂から形成された理由や、砂島独自の自然メカニズムを学ぶ。

⑤ デザート・サファリ・ツアー

モートンアイランドの中心にある広大なタンガルーマ砂丘へ車で移動し、砂丘に登ってそこに棲息する生物を観察する。頂上からの雄大な景色を楽しみ、砂丘に移動する道中にある自然環境も車中から観察できる。

⑥ イルカの餌付け

日没時に毎日リゾート前の浅瀬に集まる野生のバンドウイルカ達に直接、餌を与える体験。イルカたちはそれぞれ個性があり、性格も違う。

⑦ マリンディスカバリー・クルーズ

モートン島の西海岸をゆっくりとクルーズしながら、モートン湾浅瀬に生息する野生のジュゴン、イルカ、ウミガメ、エイなど、様々な海洋生物や鳥達を探索、その自然界での生活する姿を観察する。体験を通じて、海の環境保護について考える。ガイドによる生物の説明がある。

※上記アクティビティの詳細は <<https://www.tangalooma.com/jp/education-schools/tours-presentations>>

「タンガルーマ・アイランドリゾート公式ページ⇒教育旅行・研修旅行プログラム⇒エコスタディ&自然体験ツアー詳細」より抜粋

●FAQ (よくあるご質問)

Q1 旅行会社で販売する観光パッケージツアーと、何が違いますか？

学びを目的とする「海外環境研修」には、学校単位でしか参加できないフィールド・ワークやアクティビティが豊富に含まれます。あくまでも一般論ですが、観光パッケージツアーの場合、学術的プレゼンテーションや専門的な知識の教授を含むものは多くありません。さらに、全行程を教員が引率する安心感に加え、教員から専門的な立場でのレクチャーを受けられる、贅沢とも言える知的学習です。また、学んだ内容は、その後の大学での学びに直接生かされます。

また、ふだんからよく知る四日市大学の友人と一緒に参加したり、これまで話す機会のなかった先輩・後輩と知り合うことができます。研修終了後も交流し、人間関係を深めることが可能です。

Q2 行きたいのですが、費用の捻出が厳しいです

おっしゃるとおり、昨今の急激な物価の高騰や極端な円安に伴い、海外渡航は経済的に非常に厳しい状況です。この状況下で、ひとりでも多くの学生さんが参加できるよう、従来よりも日程を短くし、大学スタッフが直接現地とやりとりして仲介手数料などを極力抑えるなどして、少しでも研修費用を下げるために懸命に努力しています。さらに大学では、無利子の貸付制度(p2.「10. 四日市大学貸付制度」)も用意しております。加えて、大学だけでなく大学関連団体にも協力を依頼し、ご支援を検討していただいているところです。

研修内容は費用を上回る充実したものであり、同じ条件の研修はめったにみつからないと断言できます。人生の大きな糧となることは間違いありません。費用のご捻出は簡単なことではありませんが、ぜひ、ご検討ください。

Q3 なぜ、申込み時点で研修費の金額がわからないのですか？

航空券や宿泊費は為替レートなどの外的状況により金額が大きく変動するため、購入時(支払い時)に金額が確定します。事前に金額をお伝えすることが難しい状況ですが、どうかご理解ください。説明会などでも費用に関するご説明をしておりますので、お気軽に担当者にお問い合わせください。

Q4 自分の英語が通じるかどうか、心配です

ご心配は無用です。引率教員の指示に反する行動をとらない限り、自分ひとりで問題を解決する事態に陥ることは、まず、ありません。また、事前の英語授業では、実際の状況を想定した会話などを実践的に学びます。むしろ、学校で習った英語を現地で使うことにより、コミュニケーションに自信がついた、語学学習へのモチベーションが上がった、などの声が多く聞かれます。わからなくてもかまわないので、たくさん英語を使ってください。

Q5 事前の国内英語授業には出席したくありません

本研修は、国内英語授業を含む全行程に参加していただくことが参加条件です。学習目標に到達するために必要な授業ですので必ず出席してください。

Q6 研修実施時期に自分の就職が決まっていなかったら、研修をキャンセルできますか

ご自身の都合による研修のキャンセルは、できません。今回の研修が就職活動の時期と重なる方は、お申込み前によく考えてご判断ください。大学のキャリアサポート課でもご相談を受け付けております。

Q7 今年は様子を見たいので参加を見合わせ、来年か再来年に参加することはできますか

来年度以降の「海外環境研修」の具体的な開講スケジュールは決まっておりません。大学の正規カリキュラム科目ですので定期的に開講する予定ですが、開講の可否は、国内外の事情などの不確定要素に影響を受けることが十分考えられます。少しでも関心がある方は、ぜひ、今回の貴重な機会を逃さず、お申込みください。

2024 年度「海外環境研修（オーストラリア）」参加申込書

科目名：「海外環境研修」「環境情報特別講義Ⅰ」、「総合政策特別講義Ⅰ」

パスポートを所持している人は、この用紙の裏側にコピー（氏名と写真のページ）を貼ってください

【参加者】参加者ご本人の直筆でお願いします。保護者（保証人）の方とは異なる印鑑をご使用ください

学部 (○をつける)	総合政策学部 環境情報学部	学年	年	男・女 (○をつける)	生年月日	西暦 年 月 日
---------------	------------------	----	---	----------------	------	----------

ふりがな		電話番号	
氏名	印	携帯電話	
現住所	〒		
E-mail アドレス	@		

パスポートに記載された氏名 (パスポートをこれから取得する人は、パスポート申請時に記載する氏名)			
氏名	姓 (family name)	ミドルネーム (middle name)	名 (given name)
アルファベット (ブロック体)			

【下の欄はパスポート所持者のみ】(これからパスポートを取得する人は記入不要)

パスポート 有効期限	西暦 年 月 日	パスポート番号	
---------------	----------	---------	--

氏名は、パスポートに記載されている氏名と一致している必要があります。名と姓の順序やスペルに誤りがあると、飛行機に搭乗できなかったり、入国できないことがあります。本人の記載間違いによるトラブルが原因で損失が発生した場合、大学は一切補填しません。この用紙に記載した氏名で航空券などを予約しますので、よく確認してください【これからパスポートを取得する人は、ここに記載した氏名でパスポートを申請してください】。

【保護者（保証人）】保護者（保証人）ご本人の直筆でお願いします。参加者の方とは異なる印鑑をご使用ください。

ふりがな		電話番号	
氏名	印	携帯電話	
現住所	〒		

※大学の指定する方法で、期日までに申込金(5 万円)を納付してください。納付された申込金は、返金できません。

お申込期間：第一次募集 7 月 17 日(水)~7 月 24 日(水)、第二次募集 9 月 17 日(火)~20 日(金)

(定員に達した時点で締め切ります。第一次募集期間に定員に達した場合、第二次募集は行いません。)

この用紙は、**貸付制度利用を希望する方のみ**保管し、
研修費の全額振込期限（後日、申込者全員に連絡します）までに提出してください。

利用を希望する方は、以下の取扱要領をご了解の上、「2024（令和）6 年度海外研修参加費用借入申込書」に必要事項を記入して、教学課に提出してください。
提出締切は、研修費全額振込期限と同じです（後日連絡します）。

海外研修参加費用貸付金取扱要領

本学が海外において実施する語学研修講座の参加学生に対し、次の要領にて参加費用を貸し付ける。

1. 貸付の対象となる講座は、本学が学生の交流に関して提供した外国の大学において実施する短期（1 ヶ月程度以内）の海外語学研修講座とする。
2. 貸付の対象となる学生は、本学が前項の講座への参加を認め、所定の手続きにより貸付金の申請を行った者とする。ただし、学納金を延滞している学生は、貸付の対象となることはできない。
3. 貸付額は、参加費用金額から参加申込金を差し引いた金額の範囲内とし、1 万円単位で設定する。
4. 貸付金の申込みには保証人（保護者等）の同意を必要とし、海外研修参加費用借入申込書に参加者本人及び同意者が署名捺印の上、印鑑登録証明書を添付して提出する。なお、借入申込書が受理されたのちには、借用証書を大学宛に提出しなければならない。
5. 貸付の時期は、研修講座の日程を考慮して大学が定める。
6. 貸付金は、次のいずれかの方法により返済しなければならない。
 - （1）一括返済
 - （2）分割返済（6 回以内）但し、最終返済日は、貸付日から 6 か月以内とする。
7. 貸付金の返済は、所定の日までに必ず銀行振り込み、または本学へ持参して行うこと。
8. 貸付金は無利子とする。但し、所定の期日までに返済されなかったときは、理由の如何を問わず延滞額について返済の日までの間、年 6 % の割合で延滞利息を付する。
9. 貸付金の受領後次のいずれかに該当するときは、返済期限の利益を失うものとし、直ちに貸付金を一括返還しなければならない。
 - （1）何らかの理由により研修講座への参加を取り止めたとき。
 - （2）所定の返済期限内に本人が入学するとき。
 - （3）その他返済について不実の行為があったと本学が認めたとき。
10. 貸付金の返済遅延により本学が被った損害について、本学からの請求があったときは、その損害額を直ちに補填しなければならない。

以上

2024(令和6)年度 海外研修参加費用借入申込書

令和 年 月 日

四 日 市 大 学 学 長 殿

下記のとおり、海外研修参加費用(オーストラリア)として借入申込みをいたします。

《 参加者 》

所属学部	学部		学籍番号	
氏 名	フリガナ			
	印			
連 絡 先	電話番号			
	住 所	〒 —		

《 保証人(保護者等) 》

氏 名	フリガナ		
	印		
連 絡 先	電話番号		
	住 所	〒 —	

借入金額	円		研修先			
返済方法	区 分	返済期日		返済金額		
	一括返済	令和	年	月 日	円	
		分割返済	令和	年	月 日	円
			令和	年	月 日	円
			令和	年	月 日	円
			令和	年	月 日	円
			令和	年	月 日	円
			令和	年	月 日	円

[お願い]

- ※ 保証人(保護者等)の印鑑登録証明書を添付いただき、同じ印鑑を押印してください。
- ※ 保証人(保護者等)の住所は、印鑑登録証明書記載の住所を記入してください。